

A soft, painterly illustration on the left side of the slide depicts four animals—a white rabbit, a blue koala, a light brown bear, and a small orange fox—resting peacefully in a sun-dappled forest. They are gathered under the shade of a large, leafy tree, with the ground covered in green grass and small white daisies. The animals are all closed-eyed, suggesting a state of calm or sleep.

AI講座 第9回 ーパート2ー

生まれた時間の活用①

ケアの質向上とスタッフの充実

AI導入によって生まれた時間を、どう活用すべきでしょうか。
スタッフの充実とケアの質向上について考えていきます。

定着採用株式会社 長谷川 洸



生まれた時間の活用① - ケアする人自身が元気に

1 時間と心のゆとり

AI導入による最大の恩恵は「時間」と「心のゆとり」です。

2 まず自分たちから

報告書作成から解放された時間で、ケア提供者自身の心身のゆとりを取り戻します。

3 その上でケアの質向上

元気になった上で、ケアの質の向上へと繋がっていきます。

スタッフの健康とケアの質

時間の有効活用

効率化で生まれた時間をまずはスタッフの負担軽減と心身の健康回復に充てます。

健康なスタッフの重要性

疲弊した状態からは質の高いケアは生まれません。

段階的な質の向上

スタッフが元気になった結果として、ケアの質を高めていく順番が重要です。



ケアの質向上への具体的な繋がり

観察力の向上

丁寧なアセスメント: 利用者さんの細かな表情の変化や生活環境の観察に時間をかけられます。

個別化されたケア

個別性の高いケアプラン: 一人ひとりの価値観や生活背景を尊重したプランを考えるゆとりが生まれます。

関係性の深化

質の高いコミュニケーション: 利用者さんやご家族の話をじっくりと聴き、信頼関係を深められます。

専門性の向上

主体的な学びと成長: 新しい知識や技術を学ぶ意欲も湧きやすくなります。





生まれた時間の活用① - 結論

時間とゆとりの活用

AIによって得られた時間を、まずスタッフ自身の回復と充実に使います。

専門性の高いケアに集中

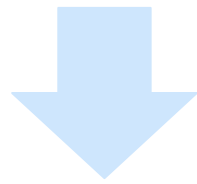
人間にしかできない、専門性の高いケアに集中できる環境を整えます。

持続的な質向上

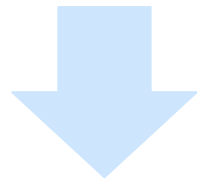
ステーション全体のケアの質を持続的に向上させる確実な道筋です。

第9回パート2 まとめ

AI導入による時間創出



スタッフの心身の健康回復へ



元気だからこそ丁寧なケアが実現

ケアの質の持続的向上

持続的にケアの質を高める確実な道

